

# 短期給付財政安定化計画

(データヘルス計画:第1期)

石川県市町村職員共済組合

# 目 次

1	－	1	組合の現状	1
1	－	2	保健事業の実施状況	4
1	－	3	特定健診・保健指導の実施状況等	8
1	－	4	医療費の分析	9
1	－	5	健康分布図	13
1	－	6	生活習慣病リスクと医療機関の受診状況等	14
1	－	7	後発医薬品の使用状況	15
		2	健康課題の抽出	17
		3	保健事業の実施計画	18

## 石川縣市町村職員共済組合短期給付財政安定化計画（データヘルス計画：第1期）

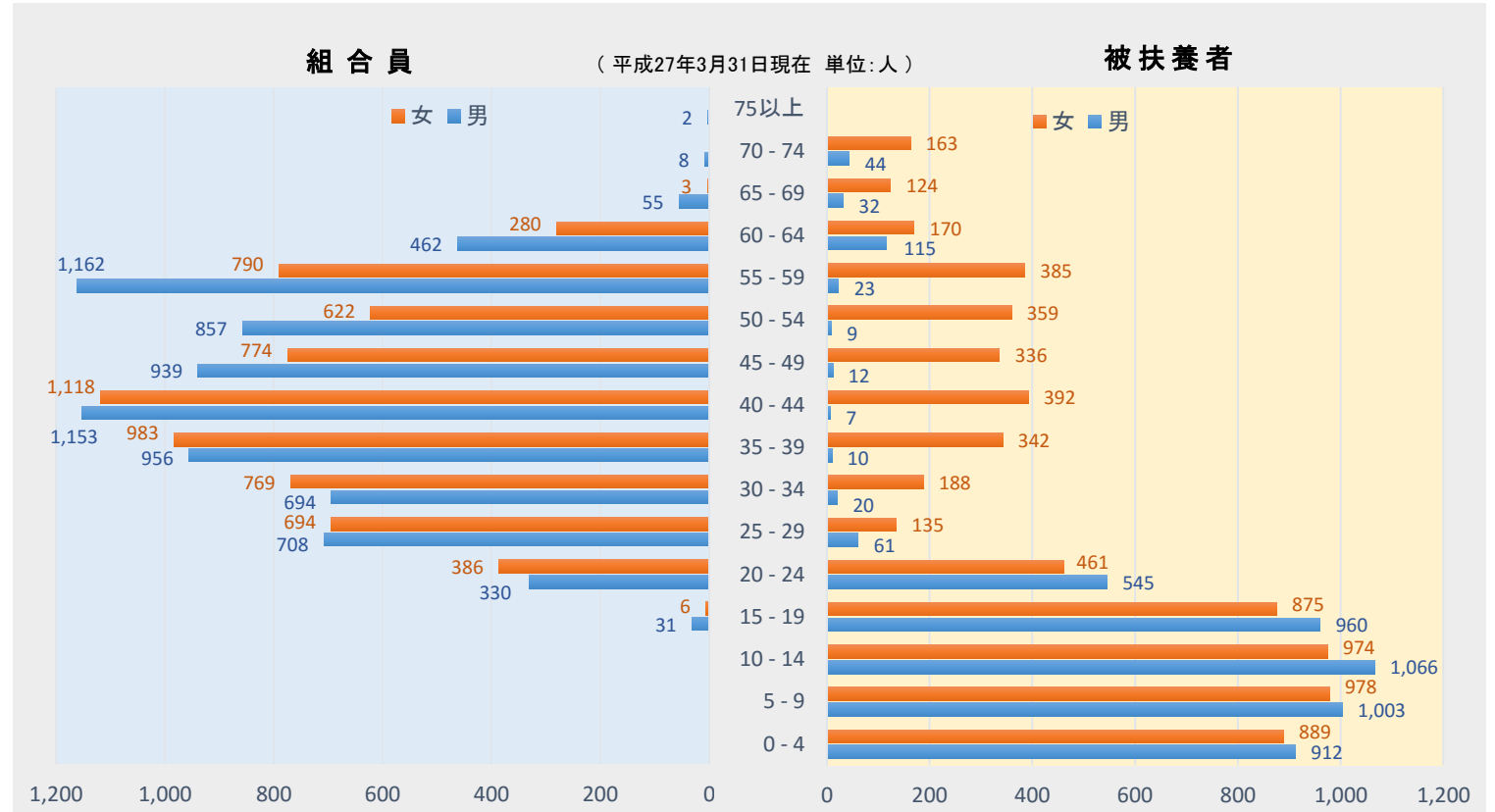
「地方公務員等共済組合法第112条第3項に規定する地方公務員共済組合が行う健康の保持増進のために必要な事業に関する指針(平成16年8月2日総務省告示第641号)」に則り、ここに平成27年度から平成29年度までの間における「石川縣市町村職員共済組合短期給付財政安定化計画〔データヘルス計画：第1期〕」を定める。

### 1-1 組合の現状

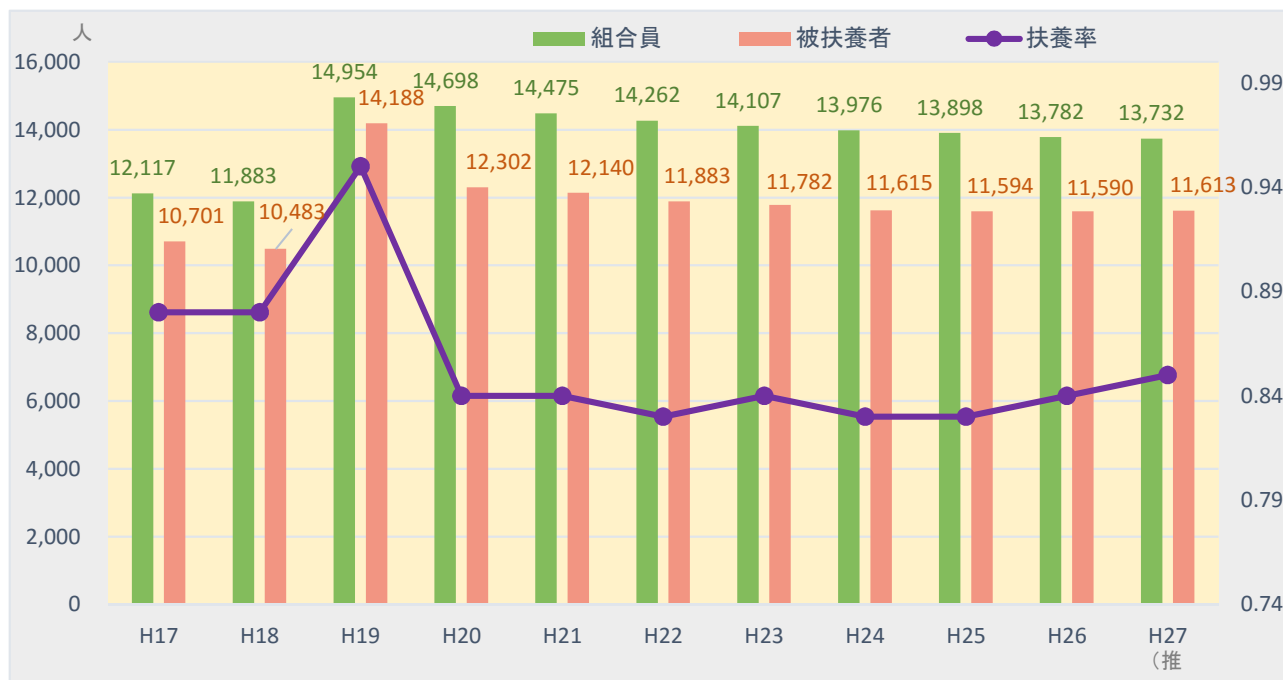
#### (1) 短期給付財政

本組合の短期給付財政は、組合員数及び標準給与(標準報酬)総額の減少に伴う掛金・負担金収入の減少、医療費や高齢者医療制度に係る拠出金負担の増加に伴い、安定的な財政運営を行うためには、短期財源率を高水準で設定せざるを得ない状況にあり、その結果、組合員の掛金及び事業主である地方公共団体の負担金の負担が高い水準になっている。

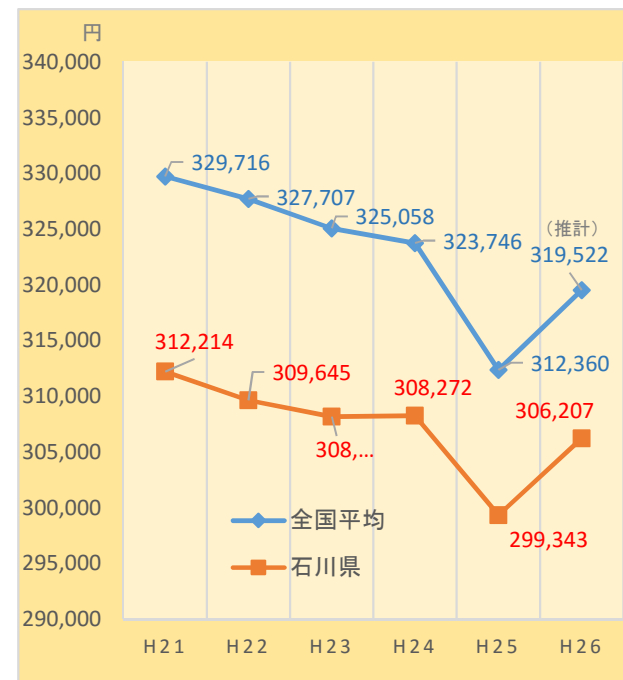
基本情報	
組合名	石川縣市町村職員共済組合
組合員	男性 7,357名 (53.38%) 平均年齢 43.6歳
	女性 6,425名 (46.62%) 平均年齢 41.5歳
	計 13,782名 (平均年齢42.6歳)
被扶養者	男性 4,819名 (41.58%) 平均年齢 14.0歳
	女性 6,771名 (58.42%) 平均年齢 25.2歳
	計 11,590名 (平均年齢20.5歳)
加入者 (組合員 + 被扶養者)	男性 12,176名 (47.99%) 平均年齢 31.9歳
	女性 13,196名 (52.01%) 平均年齢 33.1歳
	計 25,372名 (平均年齢32.5歳)
扶養率	0.85
所属所数	34所属所
財源率 (27年度)	短期 95.04% 介護 10.64%
	保健 4.72%



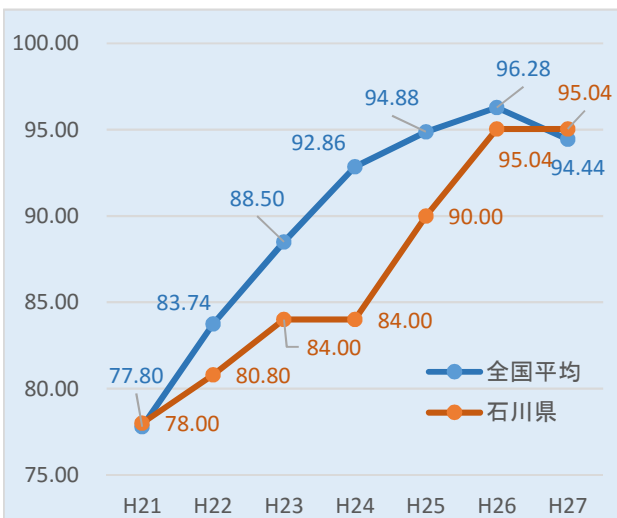
### 組合員数及び被扶養者数の推移



### 組合員平均給料月額



### 財源率の推移



### (単位:%) 全国の市町村職員共済組合の短期財源率(平成27年度)

順位	組合名	財源率	順位	組合名	財源率	順位	組合名	財源率	順位	組合名	財源率
1	東京都	77.28	11	新潟県	89.28	21	福島県	94.00	29	宮城県	96.80
2	富山県	81.76	12	埼玉県	89.60	21	徳島県	94.00	31	福岡県	97.28
3	千葉県	85.20	13	佐賀県	90.00	21	香川県	94.00	32	秋田県	97.36
4	神奈川県	86.00	14	大分県	90.64	24	北海道	94.08	33	鳥取県	98.00
5	茨城県	87.20	15	長野県	90.80		全国平均	94.44	34	岡山県	98.80
5	愛知県	87.20	16	広島県	91.20	25	石川県	95.04	35	和歌山県	98.88
7	静岡県	87.60	17	群馬県	92.00	26	青森県	95.12	36	京都府	99.04
8	滋賀県	87.92	18	兵庫県	92.40	26	三重県	95.12	37	奈良県	100.80
9	山形県	88.80	19	岐阜県	93.20	28	山梨県	96.00	37	愛媛県	100.80
10	栃木県	88.96	20	福井県	93.44	29	岩手県	96.80	39	高知県	100.96
									40	鹿児島県	101.04
									41	島根県	101.12
									41	長崎県	101.12
									43	山口県	102.08
									44	宮崎県	102.32
									45	大阪府	103.20
									46	熊本県	105.84
									47	沖縄県	108.80

平成26年度決算・平成27年度予算

(単位:千円)

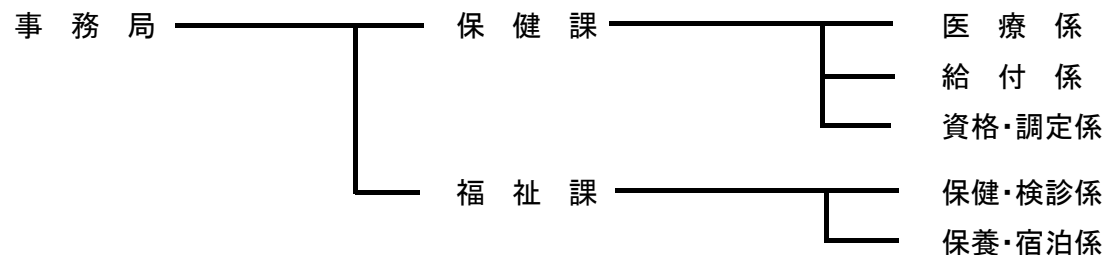
		平成26年度決算	平成27年度予算		
短期 経 理	支 出	保健給付	3,200,171	3,199,017	
		休業給付	511,002	450,265	
		災害給付	0	1,712	
		附加給付・一部負担金払戻金	79,024	76,649	
		前期高齢者納付金	2,078,713	1,943,679	
		後期高齢者支援金	1,412,577	1,441,920	
		老人保健・退職者給付拠出金	304,703	150,500	
		介護納付金	577,416	587,154	
		連合会払込金・拠出金	490,797	441,990	
		その他	27,795	27,848	
		次年度繰越支払準備金	553,930	553,016	
		支出合計 (A)	9,236,128	8,873,750	
		収 入	短期掛金・負担金	7,616,282	7,482,977
			介護掛金・負担金	582,987	569,609
調整負担金	16,109		15,895		
災害・高額医療交付金	54,758		55,573		
育児・介護休業交付金	466,618		407,837		
その他	1,944		1,691		
前年度繰越支払準備金	550,579		556,497		
収入合計 (B)	9,289,277	9,090,079			
(B) - (A)		53,149	216,329		

(単位:千円)

		平成26年度決算	平成27年度予算		
保健 経 理	支 出	検診・検査事業費	143,088	169,373	
		特定保健指導事業費	13,821	20,000	
		体育奨励事業費	6,346	8,300	
		保養・助成事業費	55,341	78,530	
		保健事業その他	1,356	2,733	
		保健普及費	8,034	6,050	
		連合会分担金	3,482	3,387	
		その他	83,949	104,250	
		支出合計 (A)	315,417	392,623	
		収 入	保健掛金・負担金	377,418	371,402
			その他	44,448	23,048
収入合計 (B)	421,866	394,450			
(B) - (A)		106,449	1,827		

(2) 短期給付財政安定化計画(データヘルス計画)の実施体制

次の実施体制により本計画を実施する。



## (1) 総括

検診事業を中心に各種の保健事業を展開している。26年度からは前期高齢者に直接面接して保健指導を行う事業を新たに実施した。また、組合員への事業内容の周知・普及については広報誌やホームページなどを活用し行ってきたが、26年度においては当初の事業計画からは下回る結果となっている。

医療費適正化事業については、医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知を組合員に直接送付する等を実施し、理解と協力を求めた。また、レセプト審査の委託業者を変更し、第三者行為の調査や被扶養者認定の強化など、その充実に努めた。

## (2) 各事業の状況

区分	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施状況	評価	
			資格	性別	年齢	対象者		成功・推進要因	課題及び阻害要因
検診・検査事業	生活習慣病検診	【目的】生活習慣病の予防 【概要】腎機能・眼底検査 所属所に対して1人当たり1,200円を限度として助成	組合員被扶養者	男女	40 ~ 74	全員	(H26年度実績) 受診者数 4,448名	所属所事業主検診との連携	被扶養者の未受診対策 所属所との連携強化
	人間ドック	【目的】疾病の予防・早期発見・早期治療 【概要】1日ドック・宿泊ドック(PETドック)の費用の70%助成(40,000円限度) 40・45・50・55・58歳到達者は、通常の助成に加えて5,000円増額	組合員被扶養者	男女	35 ~ 74	希望者	(H26年度実績) 受診者数 2,987名	通年での実施 年齢ポイント(40・45・50・55・58歳)での助成額の増加	—
	脳ドック	【目的】脳疾患の予防・早期発見・早期治療 【概要】費用の一部助成 一般ドックとの併用可	組合員被扶養者	男女	35 ~ 74	希望者	(H26年度実績) 受診者数 503名	通年での実施 一般ドックとの併用	—
	胃検診	【目的】消化器系疾患の予防・早期発見・早期治療 【概要】所属所に対して1人当たり2,400円を限度として助成	組合員被扶養者	男女	~ 74	全員	(H26年度実績) 受診者数 1,326名	所属所事業主検診との連携	被扶養者の未受診対策 所属所との連携強化
	子宮がん	【目的】子宮がんの予防・早期発見・早期治療 【概要】所属所に対して1人当たり2,100円を限度として助成	組合員被扶養者	女	~ 74	全員	(H26年度実績) 受診者数 1,116名	所属所事業主検診との連携	被扶養者の未受診対策 所属所との連携強化
	乳がん	【目的】乳がんの予防・早期発見・早期治療 【概要】視・触診法 1,200円(甲状腺検査可)マンモ・超音波法 2,400円 所属所が行う検診に対して助成	組合員被扶養者	女	~ 74	全員	(H26年度実績) 受診者数 1,336名	所属所事業主検診との連携	被扶養者の未受診対策 所属所との連携強化
	肺がん	【目的】肺がんの予防・早期発見・早期治療 【概要】喀痰細胞診 2,000円 肺CT 5,000円所属所が行う検診に対して助成	組合員被扶養者	男女	40 ~ 74	全員	(H26年度実績) 受診者数 1,053名	所属所事業主検診との連携	被扶養者の未受診対策 所属所との連携強化
	大腸がん	【目的】肺がんの予防・早期発見・早期治療 【概要】所属所に対して1人当たり1,100円を限度として助成	組合員被扶養者	男女	40 ~ 74	全員	(H26年度実績) 受診者数 1,408名	所属所事業主検診との連携	被扶養者の未受診対策 所属所との連携強化

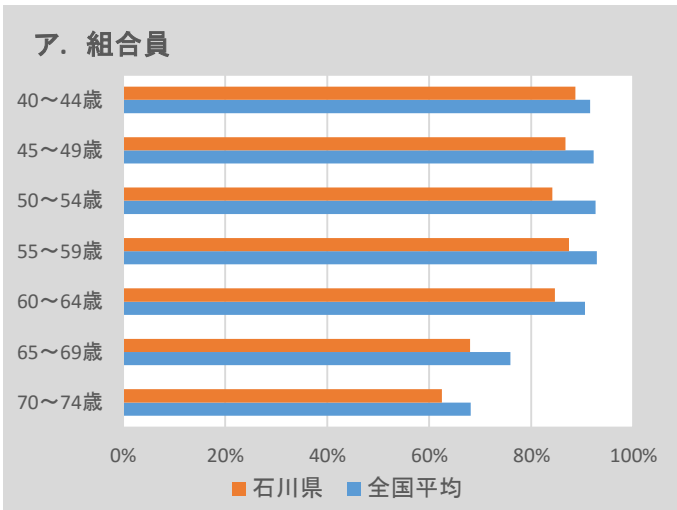
区分	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施状況	評価	
			資格	性別	年齢	対象者		成功・推進要因	課題及び阻害要因
検診・検査事業	歯科健康診断	【目的】歯周病の予防・早期発見・早期治療 【概要】口腔検査・口腔指導 所属所に対して1人当たり1,750円を限度として助成	組合員 被扶養者	男女	～ 74	全員	(H26年度実績) 受診者数 85名	所属所事業主検診との連携	被扶養者の未受診対策 所属所との連携強化
	C型肝炎ウイルス検査	【目的】C型肝炎の予防・早期発見・早期治療 【概要】所属所に対して1人当たり1,100円を限度として助成	組合員 被扶養者	男女	40 ～ 74	全員	(H26年度実績) 受診者数 986名	所属所事業主検診との連携	被扶養者の未受診対策 所属所との連携強化
	前立腺検査	【目的】前立腺疾患の予防・早期発見・早期治療 【概要】所属所に対して1人当たり1,100円を限度として助成	組合員 被扶養者	男	50 ～ 74	全員	(H26年度実績) 受診者数 580名	所属所事業主検診との連携	被扶養者の未受診対策 所属所との連携強化
	インフルエンザ予防接種	【目的】インフルエンザの予防 【概要】所属所に対して1人当たり1,400円を限度として助成	組合員 被扶養者	男女	～ 74	希望者	(H26年度実績) 予防接種者数 12,549名	インフルエンザ予防による医療費の低減 所属所事業主検診との連携	予防接種率の向上 所属所との連携強化
	電話健康相談	【目的】健康や医療機関への受診等に関する相談 健康指導・予防 【概要】24時間年中無休 フリーダイヤル	組合員 被扶養者	男女	～ 74	希望者	(H26年度実績) 相談件数 224件 (男性 113件 女性 111件)	健康情報の提供による病気の予防・医療費の適正化・適正受診 健康意識の向上	利用促進・普及
	電話メンタル相談	【目的】臨床心理士によるメンタルヘルス相談 メンタル性疾患の予防・軽減 【概要】24時間年中無休 フリーダイヤル	組合員 被扶養者	男女	～ 74	希望者	(H26年度実績) 相談件数 24件 (男性 11件 女性 13件)	メンタル関連疾患の予防・医療費の適正化・適正受診	利用促進・普及 精神的疾患による休職者の増大
	メンタル相談(面談)	【目的】面談によるメンタルヘルス相談 メンタル性疾患の予防・軽減 【概要】石川県内に2ヶ所 富山3ヶ所 福井1カ所 1人5回まで	組合員 被扶養者	男女	～ 74	希望者	(H26年度実績) 相談件数 6件 相談人数 5名 (男性 2名 女性 3名)	メンタル関連疾患の予防・医療費の適正化・適正受診	利用促進・普及 精神的疾患による休職者の増大
特定保健指導事業	特定健康診査	【目的】生活習慣病・メタボリックシンドロームの予防 【概要】40歳以上75歳未満を対象として、メタボリックシンドロームの予防・解消に重点をおいた、生活習慣病予防のための健診	組合員 被扶養者	男女	40 ～ 74	全員	(H26年度実績) 受診者数 730名	広報誌等での普及活動 文書による利用勧奨	未受診対策 受診勧奨の方法 利便性の向上
	特定保健指導	【目的】生活習慣病・メタボリックシンドロームの解消 【概要】特定健康診査の結果に基づき、「積極的支援」と「動機づけ支援」に分類し保健指導を行う	組合員 被扶養者	男女	40 ～ 74	該当者	(H26年度実績) 指導実施者数 525名	広報誌等での普及活動	辞退者の対策 未利用者の勧奨方法 利用者のモチベーションの維持
	特定保健指導 前期高齢者	【目的】高齢者の健康維持向上・重症化予防 【概要】疾病が重症化しやすい前期高齢者層を中心に専門スタッフが個別に訪問し健康指導を行う	組合員 被扶養者	男女	63 ～	全員		所属所事業主検診との連携	辞退者の対策 利用者のモチベーションの維持

区分	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施状況	評価	
			資格	性別	年齢	対象者		成功・推進要因	課題及び阻害要因
体育奨励事業	体力づくり奨励 (海の家・プール)	【目的】健康増進・元気回復・運動による体力アップ 【概要】入場料・席料全額	組合員 家族	男女	～ 74	全員	(H26年度実績) 利用者数 5,120名	広報誌・ホームページでのPR	利用促進・普及 利便性の向上
	体力づくり奨励 (スキーリフト)	【目的】健康増進・元気回復・運動による体力アップ 【概要】1,000円	組合員 家族	男女	～ 74	全員	(H26年度実績) 利用者数 4,595名	広報誌・ホームページでのPR	利用促進・普及
	体育大会	【目的】体育活動の奨励・健康増進・体力アップ・疾病の予防 【概要】組合員数により、主催団体に助成	組合員	男女	～ 74	全員		—	体育大会の減少 主催団体との連携強化
保養・助成事業	保養所利用助成	【目的】元気回復・保養・心身のリラックス効果による疾病の予防・リフレッシュ 【概要】おびし荘 3,500円 指定保養所 2,000円	組合員 被扶養者	男女	～ 74	希望者	(H26年度実績) おびし荘 15,723名 指定保養所 831名	(おびし荘) 各種利用プランの設定 広報誌による普及活動 チラシの配布	利用促進・普及
	銀婚者祝福	【目的】保養・元気回復・心身のリラックス効果による疾病の予防・リフレッシュ 【概要】婚姻して25年に達する組合員とその配偶者をおびし荘または能登小牧台に宿泊招待、もしくは旅行券の贈呈	組合員 配偶者	男女	～ 74	該当者	(H26年度実績) 該当夫婦 165組	—	未利用者の利用勧奨
	長期勤続退職者祝福	【目的】保養・元気回復・心身のリラックス効果による疾病の予防・リフレッシュ 【概要】組合員期間が25年以上で退職した組合員とその同行者1名をおびし荘または能登小牧台に宿泊招待	組合員	男女	～ 74	該当者	(H26年度実績) 該当者 268組	—	未利用者の利用勧奨
健康普及事業	小学生学習体験	【目的】健康増進・元気回復・親子共同作業によるモチベーションアップ 【概要】組合員とその小学生を対象に、体験型の学習教室を開催	組合員 家族	男女		希望者 該当者	(H26年度実績) 参加者数 61名 (1回開催)	親子体験型プラン・共同作業の実施 広報誌・ホームページでのPR	新しい学習・体験プランの開発
	健康管理講座 (健康づくり)	【目的】健康管理・健康意識の向上・普及 【概要】食生活・運動など生活習慣病対策などの講演、リラックス・肩こり・腰痛予防体操などの運動指導	組合員 家族	男女	～ 74	希望者	(H26年度実績) 参加者数 52名 (1回開催)	広報誌・ホームページでのPR	新たなセミナー内容の開拓 会場・開催回数などの見直し
	健康管理講座 (女性セミナー)	【目的】女性の特性に着目した健康管理・健康意識の向上・普及・疾病予防 【概要】専門の講師によるメンタル・食事に関する講演・運動指導・測定	組合員 家族	女	～ 74	希望者	(H26年度実績) 参加者数 31名 (1回開催)	広報誌・ホームページでのPR	新たなセミナー内容の開拓 会場・開催回数などの見直し
	健康管理講座 (ウォーキング)	【目的】健康増進・メタボ・ロコモ予防等の普及・疾病予防 【概要】正しいウォーキングフォームやトレーニング法の習得、食生活の改善等について専門スタッフから指導を受けた後、ウォーキングを実践	組合員 被扶養者	男女	～ 74	希望者	(H26年度実績) 参加者数 31名 (1回開催)	広報誌・ホームページでのPR	新たなセミナー内容の開拓 会場・開催回数などの見直し

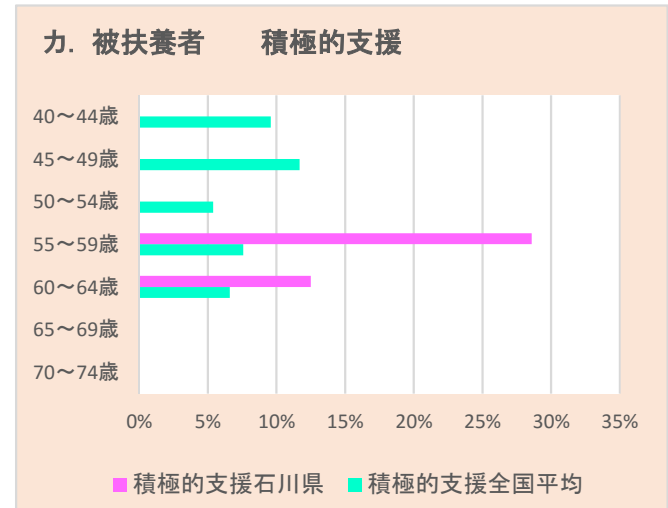
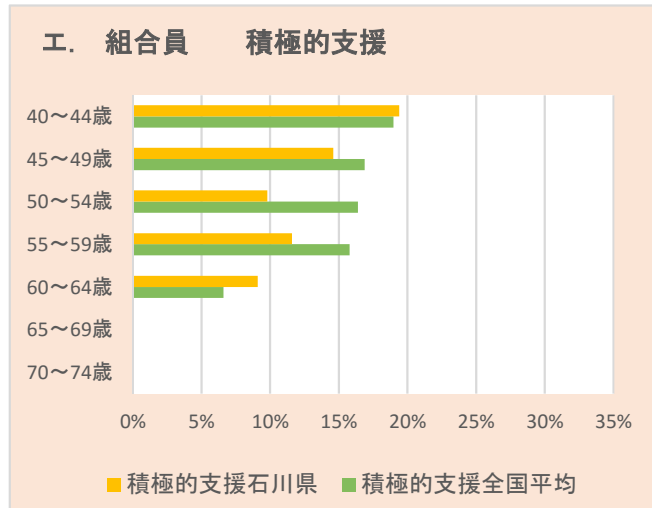
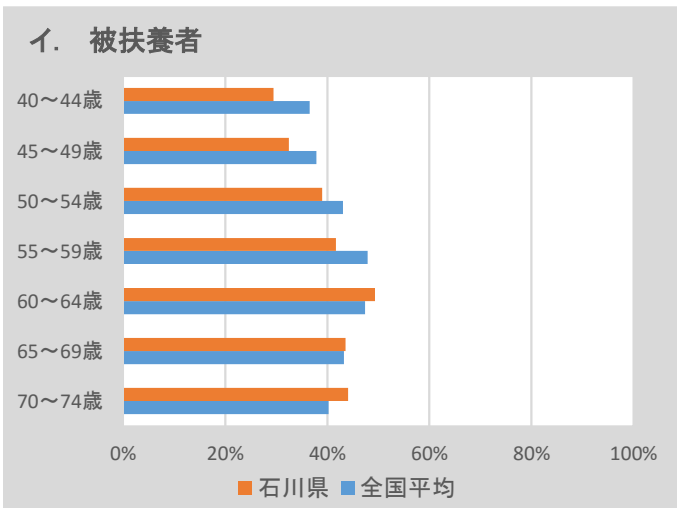
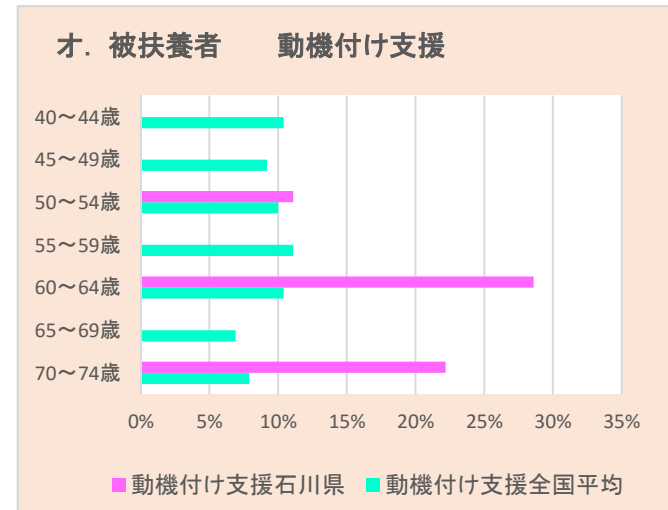
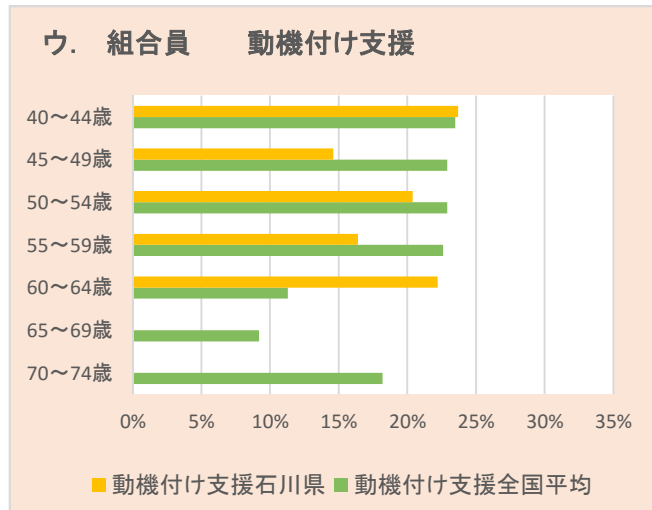


区分	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施状況	評価	
			資格	性別	年齢	対象者		成功・推進要因	課題及び阻害要因
健康普及事業	保健資料の配布 (月刊誌「笑顔」)	【目的】健康保持増進・保健健康意識の向上 【概要】組合員13人に1冊の割合で所属所に配布・回覧	組合員 被扶養者	男女	～ 74	全員	(H26年度実績) 月1回 発行	健康情報・制度解説など による健康意識の向上・ 医療費適正化	組合員全員に回覧されて いるか不明
	保健資料の配布 (月刊誌「ヘルス あっぷ21」)	【目的】健康管理情報・健康保持増進・保健健康意識の 向上 【概要】健康管理担当者に配布・回覧	組合員	男女	～ 74	該当者	(H26年度実績) 月1回 発行	健康管理情報・制度解説 などによる健康意識の向 上・医療費適正化	担当者全員に回覧されて いるか不明
	広報誌の発行	【目的】健康保持増進・保健健康意識の向上と、組合の 財政状況やイベント情報等の普及 【概要】広報誌「Well」を組合員1人に1部配布	組合員 被扶養者	男女	～ 74	全員	1月・4月・7月・10月の年4回発行 所属所を経由し配布	セミナーなどの保健事業 の参加率の向上 病類分類・財政状況の周 知による医療費の適正 化 制度改正などの解説	自宅に持ち帰ってもら い、家族にも理解をして もらう
	視聴覚教材貸出	【目的】疾病予防・健康保持増進・保健健康意識の向上 【概要】健康やメンタルヘルスに関連するビデオ・DVD の無料貸出	組合員 被扶養者	男女	～ 74	希望者	(H26年度実績) 利用なし	—	事業のPR
医療費適正化事業	医療費通知	【目的】医療費の周知・医療費の適正化・コスト意識の 向上 【概要】医療機関への受診状況を通知	組合員 被扶養者	男女	～ 74	全員	年3回実施 所属所を経由し配布 11月(4～7月診療分) 3月(8～11月診療分) 7月(12～3月診療分)	医療費適正化	医療費への関心・コスト 意識の向上
	ジェネリック医薬品 差額通知	【目的】医療費の適正化・コスト意識の向上 【概要】後発医薬品に切り替え可能で切り替えた場合の 差額を通知	組合員 被扶養者	男女	～ 74	全員	年1回実施 後発医薬品に切り替えた場合500円以 上自己負担額が低減できる者に通知。	医療費適正化	医療費への関心・ジェネ リックへの切り替え、コス ト意識の向上
	レセプト審査	【目的】医療費の適正化 【概要】内科・歯科・調剤の診療内容(縦覧を含む)の点 検	組合員 被扶養者	男女	～ 74	全員	毎月実施 縦覧点検	医療費適正化	—
	レセプト審査 第三者行為・公務 災害	【目的】医療費の適正化 【概要】外傷性疾患の原因を組合員に調査・確認	組合員 被扶養者	男女	～ 74	全員	毎月実施	医療費適正化	—
	被扶養者認定の適 正化	【目的】被扶養者資格の適正化・確認 【概要】被扶養者の所得、及び認定要件の確認調査	組合員 被扶養者	男女	～ 74	全員	被扶養者認定時の確認(随時) 毎年7月、18歳以上の被扶養者全員の 収入・資格等の確認(年1回)	医療費適正化 被扶養者認定の公平性 の確保	—
	家庭医薬品の斡旋	【目的】軽微な病気の治療・症状軽減 【概要】100品目取扱い 広報誌にチラシ折込 FAXで申 し込み 自宅・勤務先等に直送 商品と同梱の振込書 により支払(手数料 販売会社)	組合員 被扶養者	男女		全員	年2回実施 (4・10月) 業者に委託し、通販方式で斡旋 購入額3,000円以上の場合送料無料	広報誌とともにチラシ配 布 医療費の低減	取扱い商品の充実・見直 し
直営 保養所	直営保養所	【目的】元気回復・保養・心身のリラックス効果による疾 病の予防・リフレッシュ 【概要】小松市粟津温泉に「おびし荘」を運営	組合員 被扶養者	男女		全員	年間約18,000名の利用	広報誌にPR記事 チラシ配布 ホームページ	利用者の減少 PR不足

【特定健診の実施率】



【特定保健指導の実施率】



ア・イ

・組合員、被扶養者とも受診率が、ほぼすべての年代において全国平均と比較して低くなっている。  
 → 事業主健診データや被扶養者の健診データのうち、一部授受に関し課題があることから、全国平均を下回っていることが考えられる。  
 また、特に被扶養者においては、検診を受ける機会が限られており、環境の整備が求められる。

ウ～カ

・組合員、被扶養者とも全体的に全国平均を下回っている。  
 → 組合員については、所属所との連携不足、被扶養者については指導の実施環境が限定的であることが考えられる。

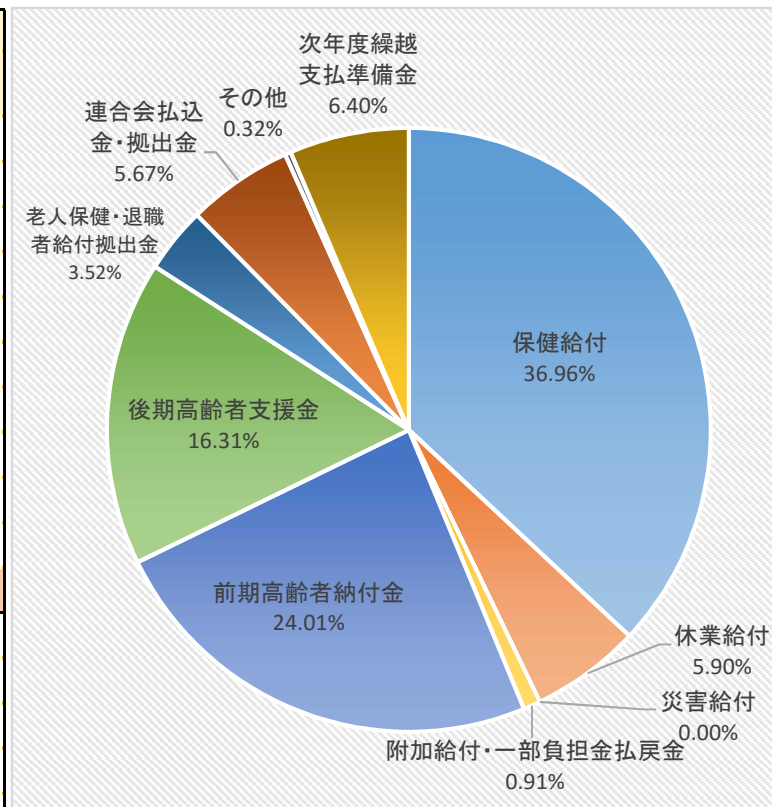
1-4 医療費の分析（原因分析）

(1) 支出の基本的構造

平成26年度 予算及び決算状況

	予算額	決算額	比較増△減	前年度決算との比較		
				前年度決算額	比較増△減	
支出	保健給付	3,202,054	3,200,171	△ 1,883	3,175,610	24,561
	休業給付	410,777	511,002	100,225	451,793	59,209
	災害給付	1,220	0	△ 1,220	0	0
	附加給付・一部負担金払戻金	87,158	79,024	△ 8,134	80,297	△ 1,273
	前期高齢者納付金	2,077,619	2,078,713	1,094	2,096,389	△ 17,676
	後期高齢者支援金	1,413,898	1,412,577	△ 1,321	1,410,371	2,206
	老人保健・退職者給付拠出金	327,690	304,703	△ 22,987	359,657	△ 54,954
	連合会払込金・拠出金	486,908	490,797	3,889	375,566	115,231
	その他	27,816	27,795	△ 21	27,009	786
	次年度繰越支払準備金	553,713	553,930	217	550,579	3,351
	支出合計	8,588,853	8,658,712	69,859	8,527,271	131,441
収入	短期掛金・負担金	7,556,875	7,616,282	59,407	7,098,050	518,232
	調整負担金	15,962	16,109	147	15,752	357
	災害・高額医療交付金	54,709	54,758	49	63,000	△ 8,242
	育児・介護休業交付金	377,711	466,618	88,907	404,223	62,395
	その他	1,398	1,944	546	8,346	△ 6,402
	前年度繰越支払準備金	555,998	550,579	△ 5,419	569,994	△ 19,415
	収入合計	8,562,653	8,706,290	143,637	8,159,365	546,925

支出の構造



- ・ 平成26年度における本組合の支出の基本構造は、保健給付 36.96%、前期高齢者納付金 24.01%、後期高齢者支援金 16.31%、老人保健・退職者給付拠出金 3.52%、休業給付 5.90%、附加給付等 0.91%などとなっている。
- ・ 高齢者医療制度への支援金・拠出金等で支出の43.84%を占めており、財源率上昇の大きな要因となっている。

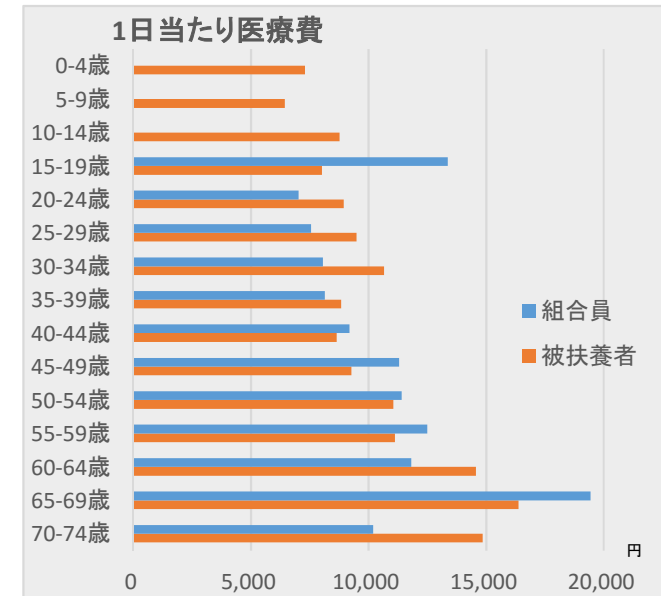
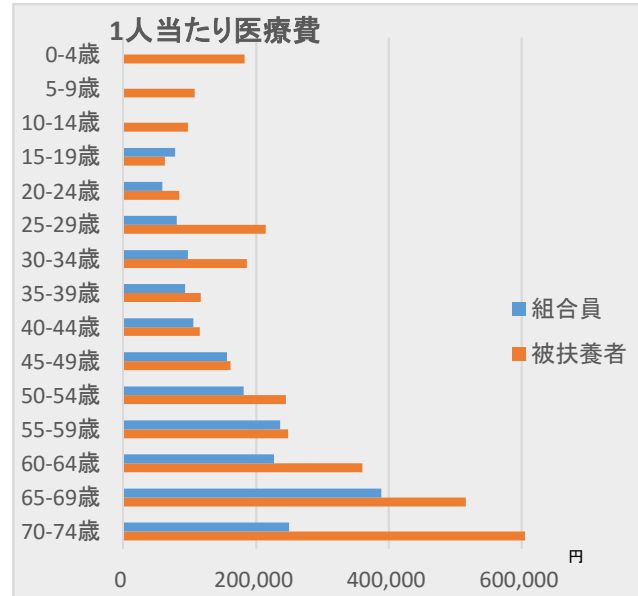
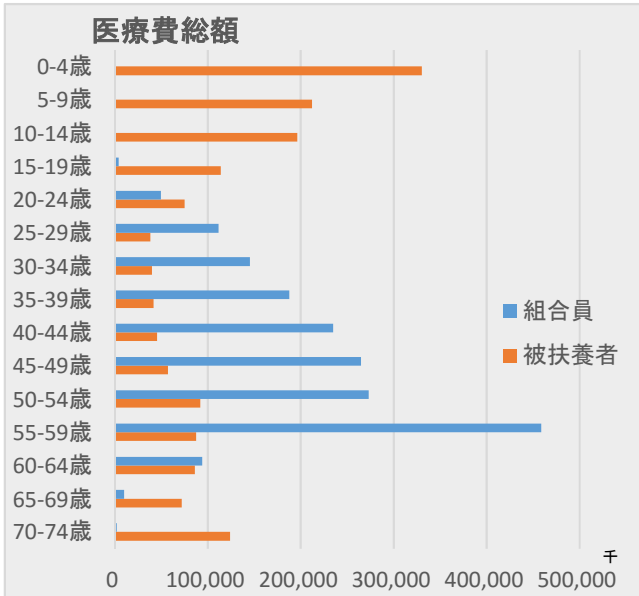
(2) 医療費の状況 【平成26年度 年額】

(単位:円・日)

	組合員				被扶養者			
	医療費総額	1人当たり医療費	1件当たり日数	1日当たり医療費	医療費総額	1人当たり医療費	1件当たり日数	1日当たり医療費
医科・入院	481,955,880	35,457	7.41	44,601	570,032,110	50,387	13.37	33,157
医科・入院外	814,971,020	59,957	1.39	8,268	661,328,220	58,457	1.50	6,363
歯科	195,216,600	14,362	1.86	6,228	124,284,190	10,986	1.69	6,036
調剤	344,733,110	25,362	1.18	8,449	257,751,650	22,783	1.26	6,397
医療費計	1,836,876,610	135,137	1.47	10,119	1,613,396,170	142,612	1.59	8,865
伸び率(対前年)								
医科・入院	4.93%	5.30%	-2.21%	6.49%	8.34%	8.05%	2.64%	3.83%
医科・入院外	-1.11%	-0.76%	-0.21%	-1.23%	1.25%	0.98%	-1.97%	2.85%
歯科	27.26%	27.71%	-1.89%	-0.37%	27.11%	26.77%	0.24%	6.09%
調剤	-0.87%	-0.51%	-0.29%	-4.69%	1.80%	1.53%	-1.71%	-2.53%
医療費計	2.93%	3.30%	0.08%	-1.80%	5.43%	5.15%	-1.37%	3.00%

- 平成26年度の医療費は請求点数ベースで、組合員18億3千万円、被扶養者で16億1千万円余り発生しており、組合員 53.2%、被扶養者 46.8%となっている。
- 前年度との比較では組合員、被扶養者とも、医科入院と歯科の伸びが著しい。医療費全体では被扶養者の伸びが大きくなっている。

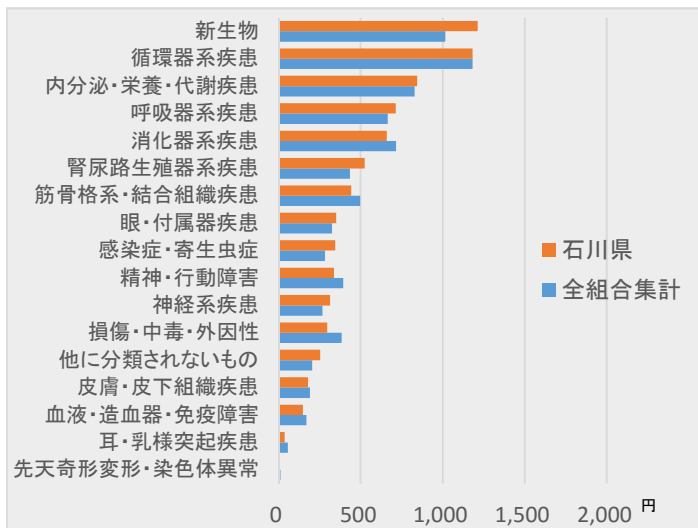
(3) 年齢別医療費 【平成26年度 年額】



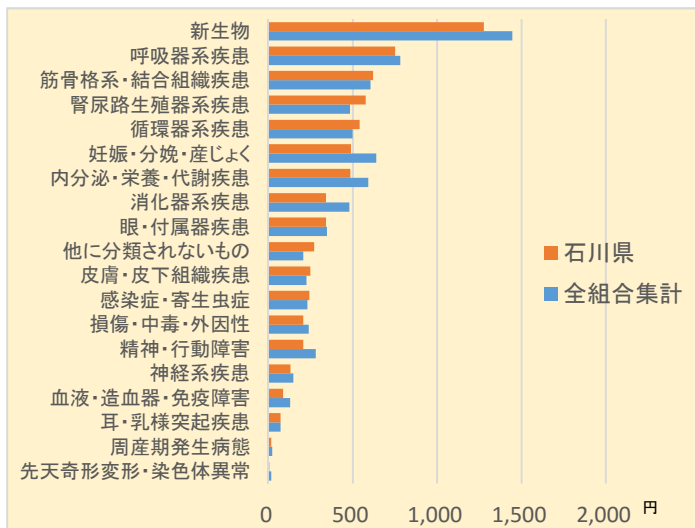
- 1人当たり医療費は、40歳を超えたあたりから急激に増加している。特に前期高齢者である被扶養者が高額となっている。
- 1日当たり医療費も、加齢とともに徐々に増加している。特に15~19歳の組合員、前期高齢者である組合員・被扶養者が高額となっている。

(4) 疾病大分類別 1人当たり医療費 【平成27年3月診療分】

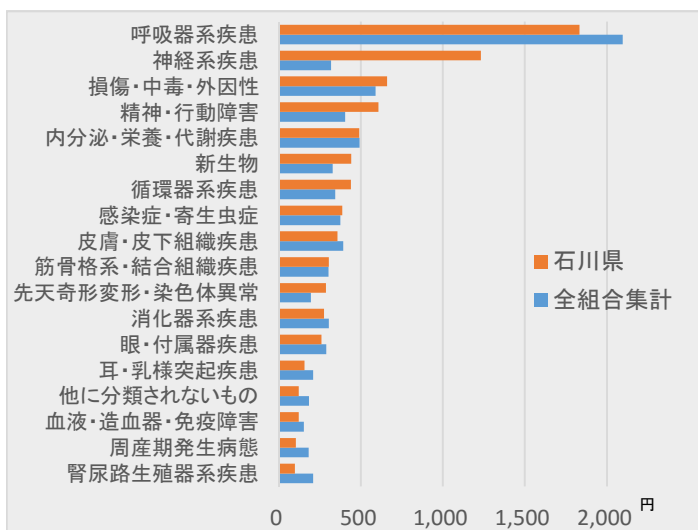
組合員 男性



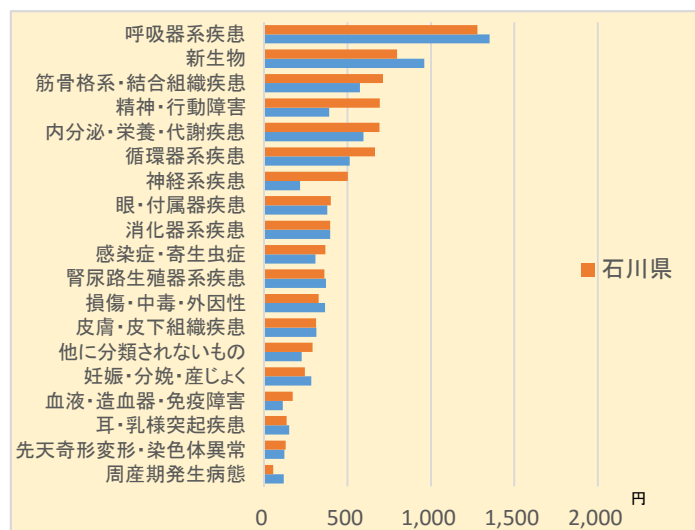
組合員 女性



被扶養者 男性

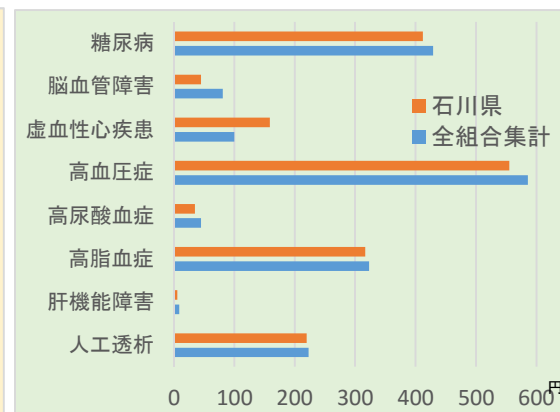


被扶養者 女性

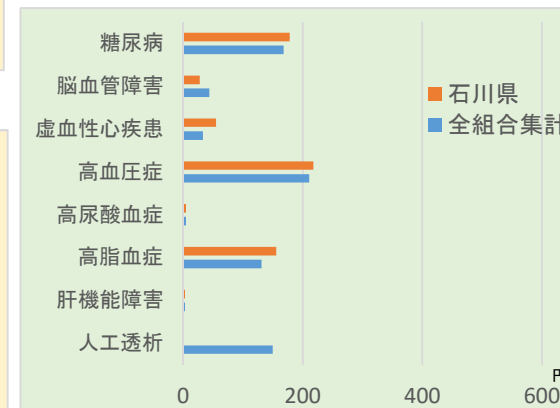


(5) 生活習慣病に関わる疾病の1人当たりの医療費 【平成27年3月診療分】

組合員



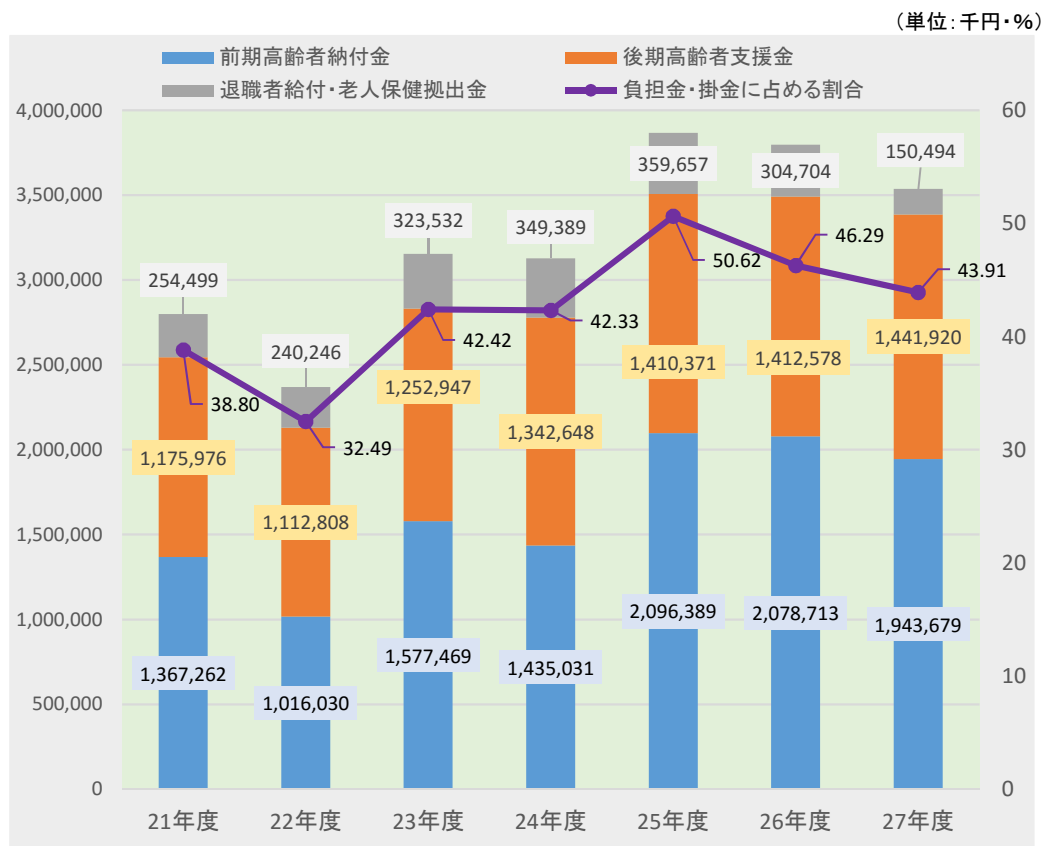
被扶養者



- ・ 組合員・扶養者とも高血圧症、糖尿病、高脂血症が高額となっている。
- ・ 人工透析に移行しないよう、重症化予防対策が重要。

- ・ 組合員では男女とも新生物の医療費が高額となっている。循環器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患も上位となっており、メタボや禁煙等の生活習慣の改善が重要。
- ・ 被扶養者では、かぜ等の呼吸器系疾患が多くなっているが、生活習慣に起因する循環器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患医療費の上位を占めている。また、男性の神経系疾患が全国平均を大きく上回っている。

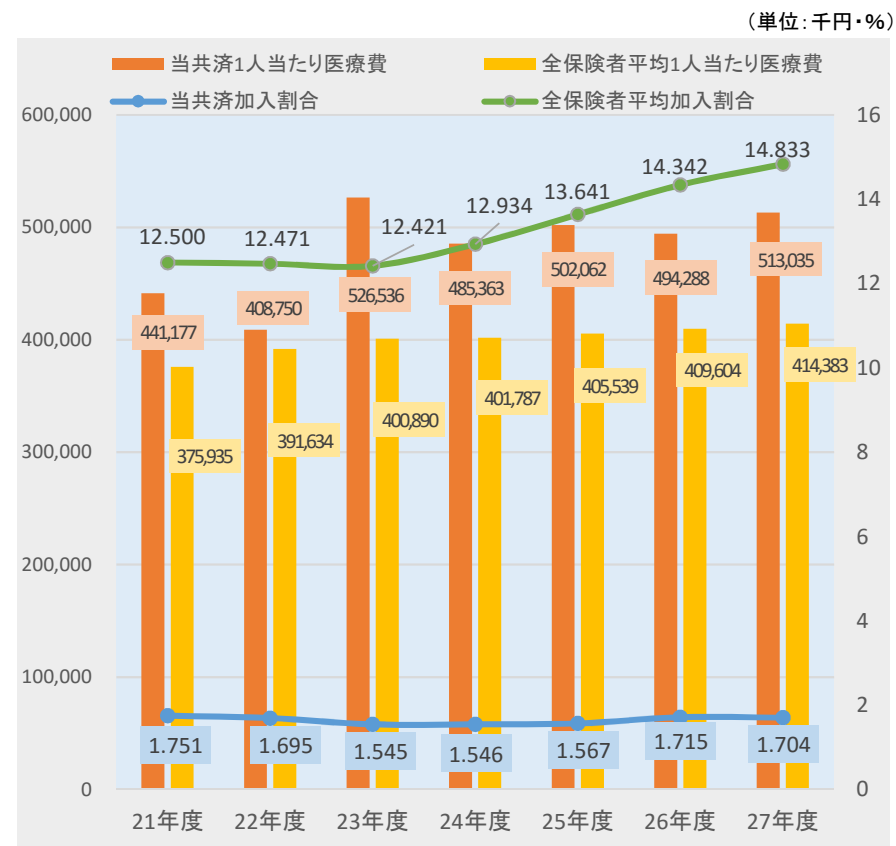
### (6) 高齢者医療制度への拠出金額及び掛金負担金に占める割合



※ 27年度は推計値

- ◆ 財源率引き上げの大きな要因となる高齢者医療制度への拠出金は、掛金・負担金収入の約半分を占める。
- ◆ 特に、前期高齢者納付金額は拠出金全体の約55%となっており、その変動も激しい。

### (7) 前期高齢者の1人当たり医療費と加入割合



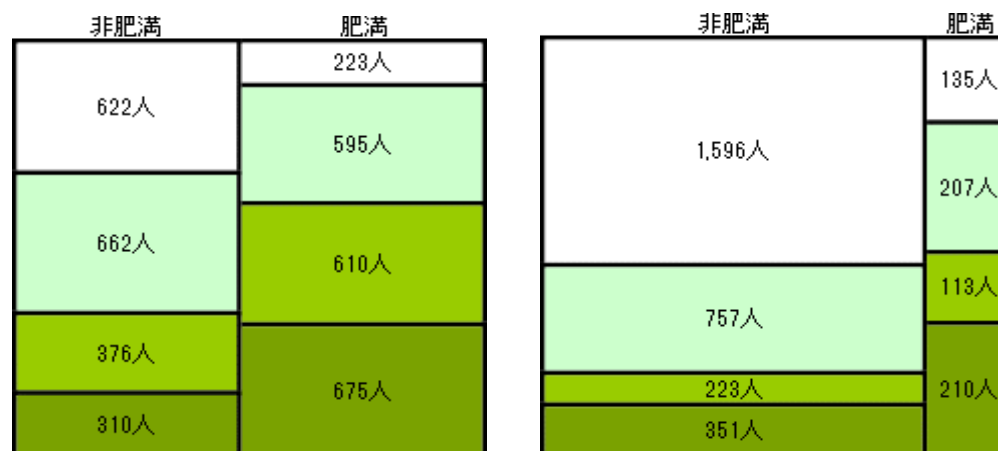
※ 26・27年度は推計値

- ◆ 前期高齢者納付金は、前期高齢者1人当たりの医療費が高額となれば、納付金額が多くなる仕組みとなっている。
- ◆ 団塊の世代が前期高齢者となり、全保険者平均の加入率が増加している。当組合の加入率はほぼ横ばいで、平均との乖離が激しいほど納付金額が多くなる仕組みとなっている。

生活習慣病・健診レベル判定分布（比較）

石川県				
男性	A. 非肥満		B. 肥満	
	人数	割合	人数	割合
1. 基準範囲内	622	15.27%	223	5.48%
2. 保健指導基準値以上	662	16.25%	595	14.61%
3. 受診勧奨基準値以上	376	9.23%	610	14.98%
4. 服薬投与	310	7.61%	675	16.57%

女性	A. 非肥満		B. 肥満	
	人数	割合	人数	割合
1. 基準範囲内	1,596	44.43%	135	3.76%
2. 保健指導基準値以上	757	21.07%	207	5.76%
3. 受診勧奨基準値以上	223	6.21%	113	3.15%
4. 服薬投与	351	9.77%	210	5.85%

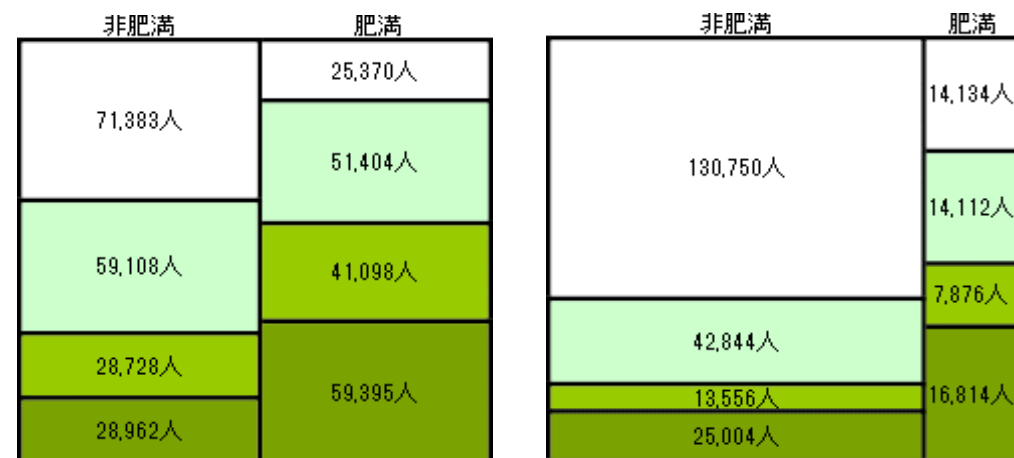


組合/男性

組合/女性

全組合集計				
男性	A. 非肥満		B. 肥満	
	人数	割合	人数	割合
1. 基準範囲内	71,383	19.53%	25,370	6.94%
2. 保健指導基準値以上	59,108	16.17%	51,404	14.07%
3. 受診勧奨基準値以上	28,728	7.86%	41,098	11.25%
4. 服薬投与	28,962	7.93%	59,395	16.25%

女性	A. 非肥満		B. 肥満	
	人数	割合	人数	割合
1. 基準範囲内	130,750	49.32%	14,134	5.33%
2. 保健指導基準値以上	42,844	16.16%	14,112	5.32%
3. 受診勧奨基準値以上	13,556	5.11%	7,876	2.97%
4. 服薬投与	25,004	9.43%	16,814	6.34%



全組合集計/男性

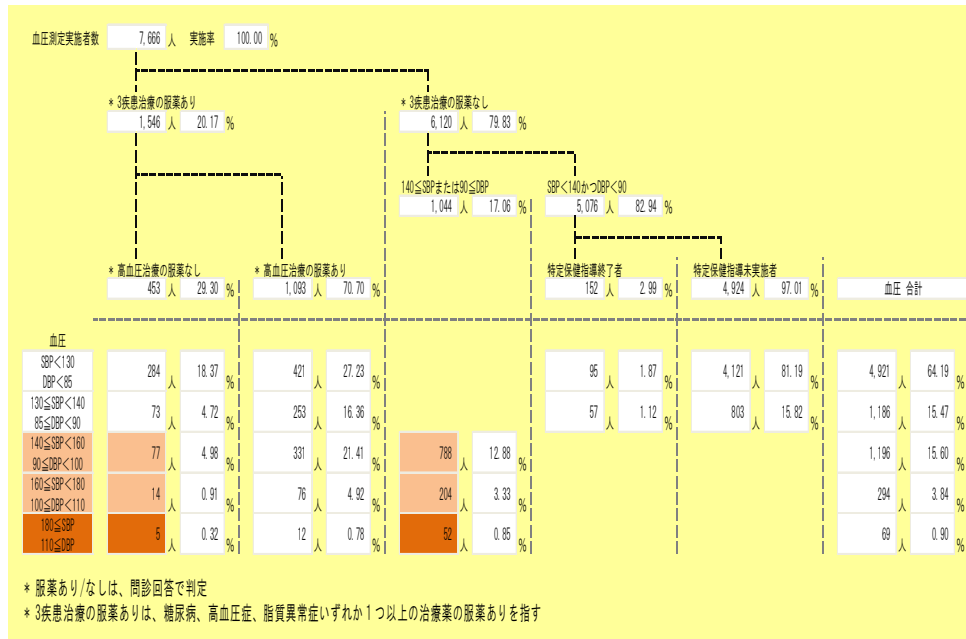
全組合集計/女性

- ・ 健診受診者中、男性で約80%、女性で約52%の方が何らかのリスクを抱えている。
- ・ 全国集計では男性で約74%、女性で約45%がリスク保持者であり、石川県は男女ともリスク保持者の割合が高い。

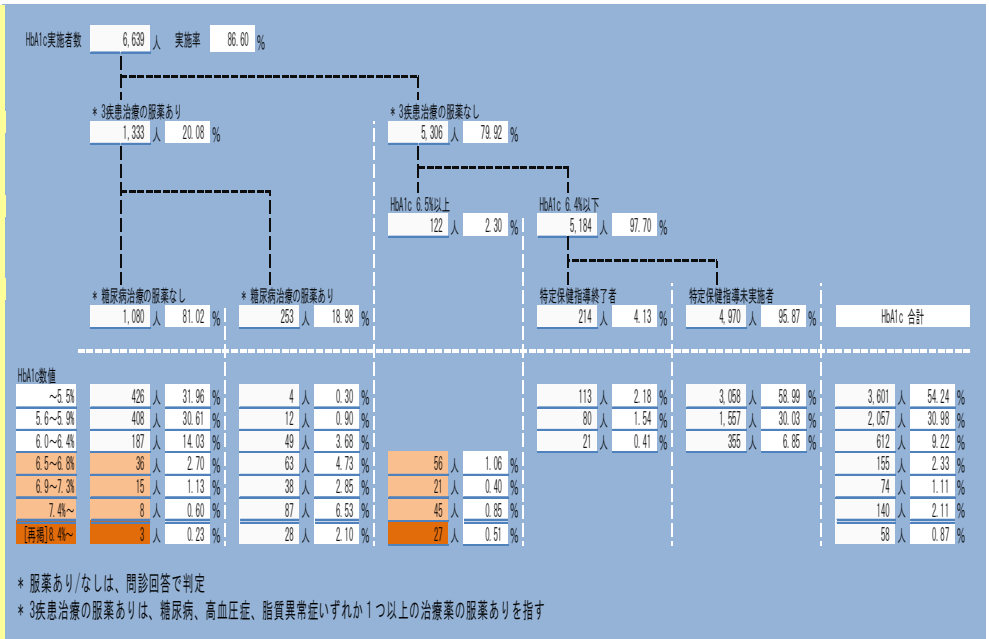
生活習慣病・健診レベル判定と医療受診状況

	健診非受診者		健診受診者の健診レベル判定							
	人数	割合	基準値内		保健指導基準値以上		受診勧奨基準値以上		服薬あり	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
生活習慣病レセあり	838	8.43%	351	3.53%	422	4.24%	342	3.44%	1,502	15.11%
生活習慣病レセなし	1,439	14.47%	2,225	22.38%	1,799	18.09%	980	9.66%	44	0.44%
計	2,277		2,576		2,221		1,322		1,546	

【リスクフローチャート】 脳卒中・心筋梗塞



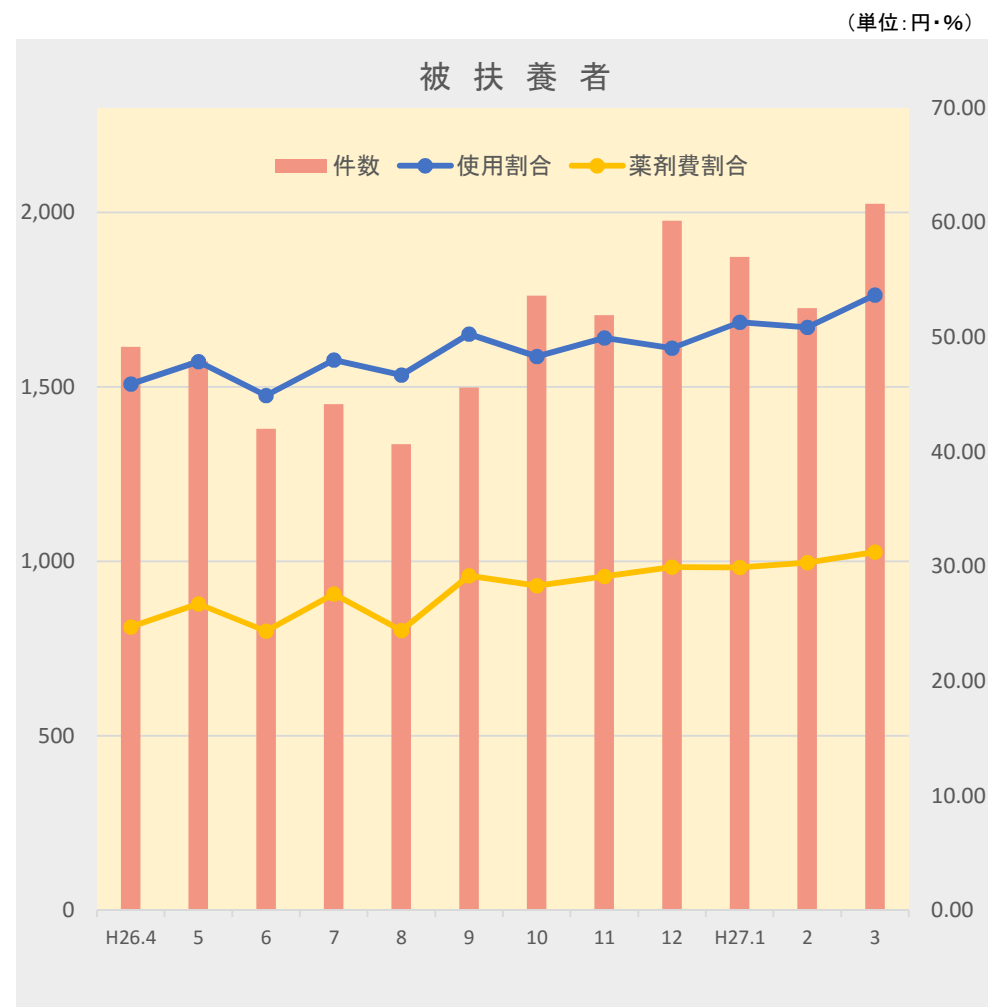
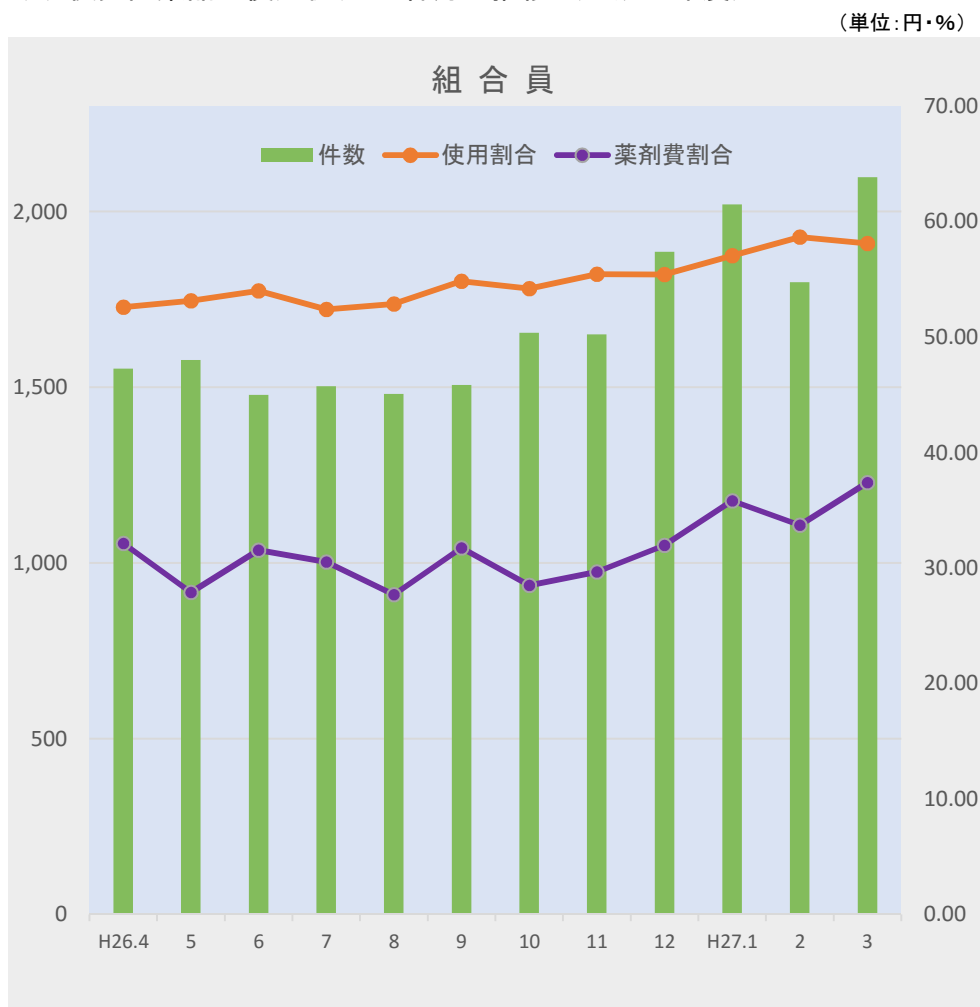
糖尿病



- ・ 健診レベル判定で受診勧奨基準値以上の 1,322名のうち、980名もの組合員・被扶養者が医療機関を受診していない。
- ・ 高血圧薬を服用しておらず受診勧奨基準値を超えている方 1,140名のうち、特にリスクの高い方が57名存在する。
- ・ 糖尿病薬を服用しておらずHbA1cが受診勧奨基準値を超えている方 181名のうち重症化リスクが大きいと考えられる方が 30名存在する。



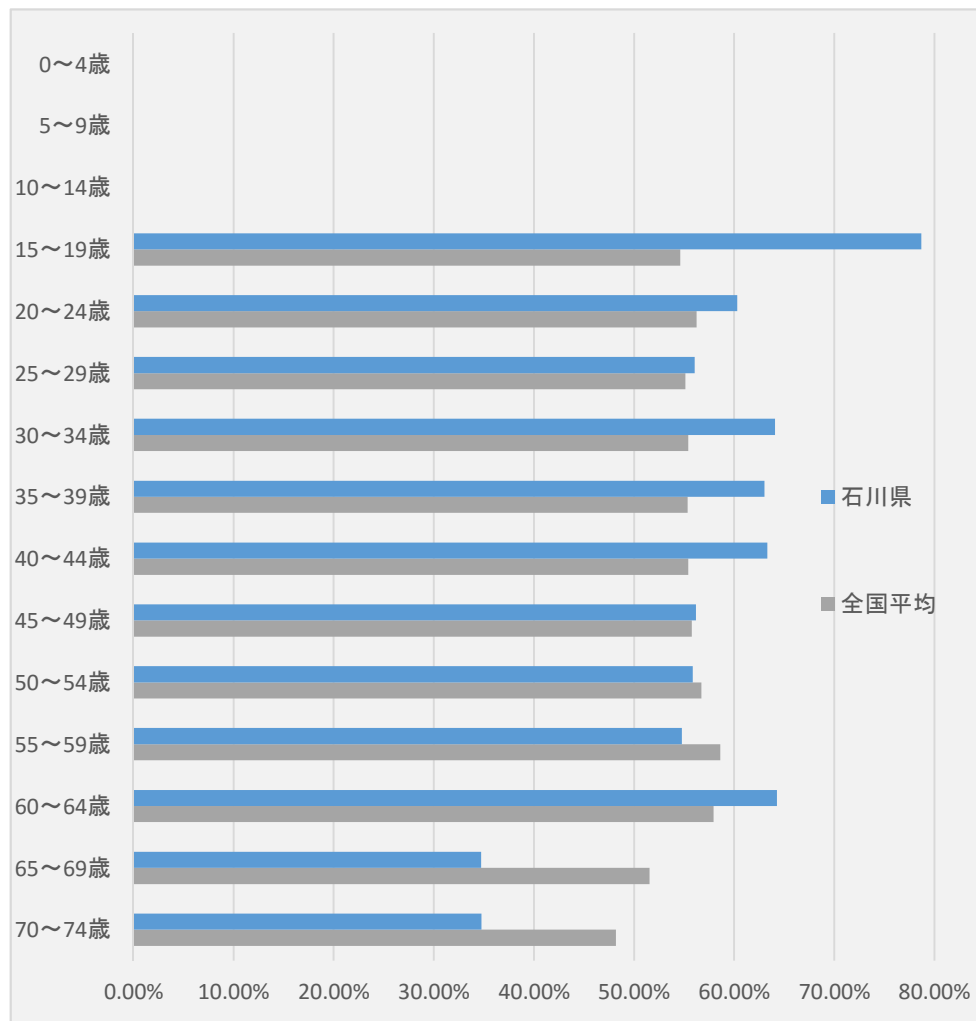
(1) 後発医薬品の使用状況 各月の推移（平成26年度）



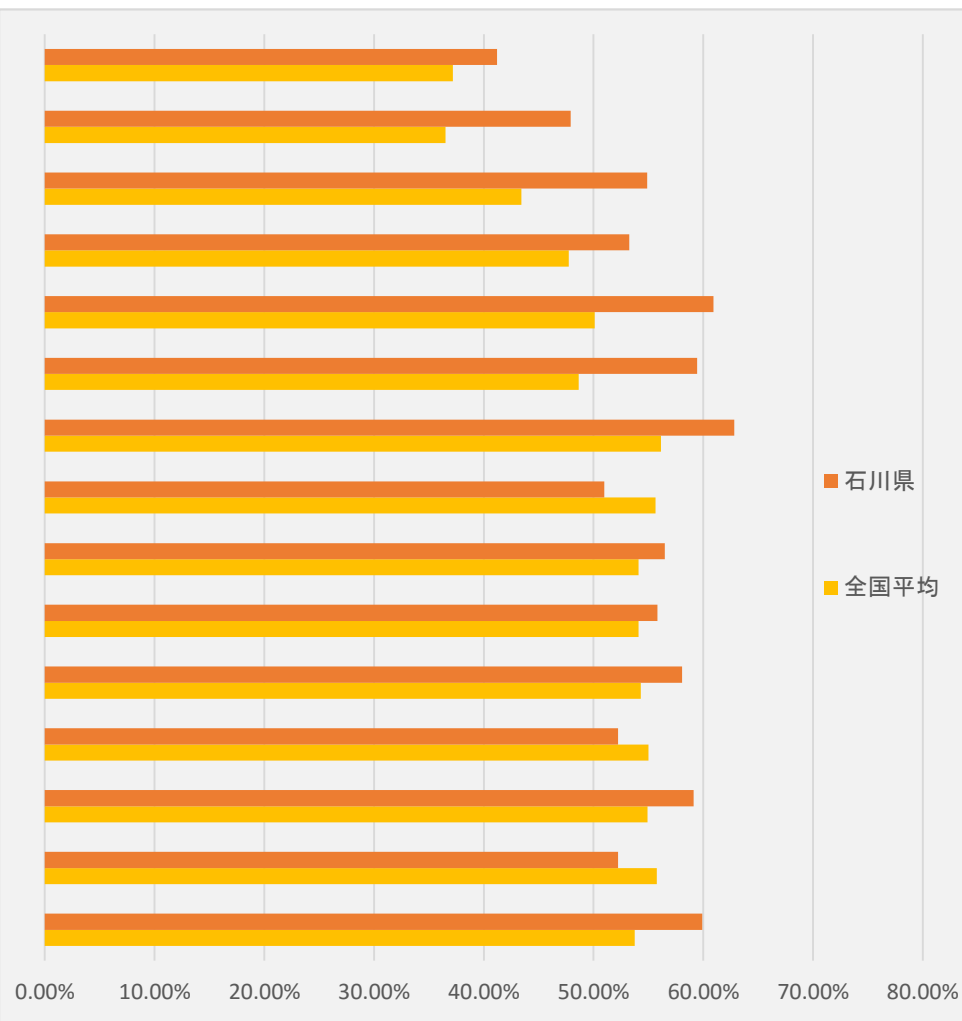
- ◆ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用割合は少しずつではあるが、組合員・被扶養者とも着実に増加している。
- ◆ 被扶養者の後発医薬品使用割合が低い。

(2) 年代別後発医薬品使用割合 全国平均比較 (平成27年3月調剤分)

組合員



被扶養者



- ◆ 後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用割合は、全般的には全国平均と比較して高くなっている。
- ◆ 組合員では50歳代、65歳以上の使用割合が比較的低くなっている。被扶養者では、35歳、55歳、65歳の年代での割合が低い。

## 基本分析による現状把握から見える主な健康課題

特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率が、ほぼすべての年齢において全国平均と比較して低くなっている。

組合員、被扶養者とも65歳以降の方(前期高齢者)の医療費が高額となっている。このため、前期高齢者納付金の額が非常に高い。

新生物、循環器系疾患、内分泌・代謝系疾患等の医療費が高額となっている。

生活習慣病に関わる病気のうち糖尿病、高血圧症、高脂血症の割合と医療費額が高い。

## 対策の方向性

- ・ 特定健診・特定保健指導の意義が十分理解されるよう、所属所と連携し啓発・普及活動を行う。
- ・ 所属所における、特定健診・特定保健指導の実施環境の改善を働きかける。
- ・ 被扶養者に、特定健診受診場所の周知方法を工夫し、受診勧奨を積極的に行う。
- ・ 健診データの収集方法について、一部の健診機関に協力を求め、また、被扶養者のデータの回収率を高める方策の検討を行う。

- ・ 前期高齢者に対する訪問保健指導の実施率の向上を図り、病気の早期発見や適切な受診勧奨を行う。
- ・ 前期高齢者に対する、特定健診・特定保健指導の受診勧奨をさらに強力に推進する。

- ・ 早期発見・早期治療でリスクを軽減できる疾患であり、人間ドック検査のさらなる周知、検査項目の見直しや、オプション検査の検討を行う。
- ・ 生活習慣の改善、メタボの解消に関連したセミナーの充実、また実施方法について見直しを行う。

- ・ 症状の軽いうちに受診するように勧奨・指導を実施し、早期治療による「重症化予防対策」の実施について検討する。
- ・ 高いリスクを示す検査値がでているにもかかわらず、医療機関を受診していない方に受診勧奨を行う方法について検討する。

## 特徴

## 基本情報

組合員の男女比は、若干男性の割合が高く、平均年齢も男性が2歳ほど高くなっている。特に50歳代の男性比率が高い。

3,000人以上の大規模な所属所から、数人の所属所まで、その規模はさまざまであり、また県内全域に点在している。

扶養率は比較的低いほうである。前期高齢者である加入者数は低いものの、1人当たり医療費は高額となっている。

## 実施状況

特定健診・特定保健指導の受診率・実施率が低い(特に被扶養者)

健康セミナー・ウォークセミナーなどの参加者数の減少、参加者の固定化がみられる。

被扶養者の各種検診の受診率が低い。

## 対策検討時に留意すべき点

- ・ 所属所が県内全域に点在し、また、共済組合と組合員が直接的に接することは現実的ではないため、所属所とのコラボヘルス事業が重要。このため、27年度から事業内容の検討を行う。
- ・ ハイリスク基準値の未受診者の受診勧奨や、重症化予防対策の推進について検討する。

- ・ 特定健診、人間ドック検査、各種の検診事業についてPR方法を見直し、受診機会の向上方法について検討を行う。
- ・ セミナーやイベントのメニューを見直し、また組合員への周知方法を改善し、新規の参加者の獲得を図る。
- ・ 広報誌の家庭への持ち帰りを推奨し、ホームページの内容の充実を図る。

区分	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施計画			目標(達成時期:平成29年度)	
			資格	性別	年齢	対象者	平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
検診・検査事業	既存 生活習慣病検診	【目的】生活習慣病の予防 【概要】腎機能・眼底検査 所属所に対して1人当たり1,200円を限度として助成	組合員被扶養者	男女	40～74	全員	所属所の理解を得ながら、未受診者対策 継続	継続	継続	受診率の向上	要精検者の減少 早期発見・治療による医療費の低減
	既存 人間ドック	【目的】疾病の予防・早期発見・早期治療 【概要】1日ドック・宿泊ドック(PETドック)の費用の70%助成(40,000円限度) 40・45・50・55・58歳到達者は、通常の助成に加えて5,000円増額	組合員被扶養者	男女	35～74	希望者	リピーター以外の受診者増加対策の実施・PRの強化	継続	継続	受診率の向上	要精検者の減少 早期発見・治療による医療費の低減
	既存 脳ドック	【目的】脳疾患の予防・早期発見・早期治療 【概要】費用の一部助成 一般ドックとの併用可	組合員被扶養者	男女	35～74	希望者	リピーター以外の受診者増加対策の実施・PRの強化	継続	継続	受診率の向上	要精検者の減少 早期発見・治療による医療費の低減
	既存 胃検診	【目的】消化器系疾患の予防・早期発見・早期治療 【概要】所属所に対して1人当たり2,400円を限度として助成	組合員被扶養者	男女	～74	全員	所属所の理解を得ながら、未受診者対策 継続	継続	継続	受診率の向上	要精検者の減少 早期発見・治療による医療費の低減
	既存 子宮がん	【目的】子宮がんの予防・早期発見・早期治療 【概要】所属所に対して1人当たり2,100円を限度として助成	組合員被扶養者	女	～74	全員	所属所の理解を得ながら、未受診者対策 継続	継続	継続	受診率の向上	要精検者の減少 早期発見・治療による医療費の低減
	既存 乳がん	【目的】乳がんの予防・早期発見・早期治療 【概要】視・触診法 1,200円(甲状腺検査可)マンモ・超音波法 2,400円 所属所が行う検診に対して助成	組合員被扶養者	女	～74	全員	所属所の理解を得ながら、未受診者対策 継続	継続	継続	受診率の向上	要精検者の減少 早期発見・治療による医療費の低減
	既存 肺がん	【目的】肺がんの予防・早期発見・早期治療 【概要】喀痰細胞診 2,000円 肺CT 5,000円所属所が行う検診に対して助成	組合員被扶養者	男女	40～74	全員	所属所の理解を得ながら、未受診者対策 継続	継続	継続	受診率の向上	要精検者の減少 早期発見・治療による医療費の低減
	既存 大腸がん	【目的】肺がんの予防・早期発見・早期治療 【概要】所属所に対して1人当たり1,100円を限度として助成	組合員被扶養者	男女	40～74	全員	所属所の理解を得ながら、未受診者対策 継続	継続	継続	受診率の向上	要精検者の減少 早期発見・治療による医療費の低減
	既存 歯科健康診断	【目的】歯周病の予防・早期発見・早期治療 【概要】口腔検査・口腔指導 所属所に対して1人当たり1,750円を限度として助成	組合員被扶養者	男女	～74	全員	所属所の理解を得ながら、未受診者対策 継続	継続	継続	受診率の向上	う歯・歯周病者の減少 早期発見・治療による医療費の低減
	既存 C型肝炎ウイルス検査	【目的】C型肝炎の予防・早期発見・早期治療 【概要】所属所に対して1人当たり1,100円を限度として助成	組合員被扶養者	男女	40～74	全員	所属所の理解を得ながら、未受診者対策 継続	継続	継続	受診率の向上	要精検者の減少 早期発見・治療による医療費の低減

区分	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施計画			目標(達成時期:平成29年度)	
			資格	性別	年齢	対象者	平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
検診・検査事業	既存 前立腺検査	【目的】前立腺疾患の予防・早期発見・早期治療 【概要】所属所に対して1人当たり1,100円を限度として助成	組合員被扶養者	男	50～74	全員	所属所の理解を得ながら、未受診者対策継続	継続	継続	受診率の向上	要精検者の減少 早期発見・治療による医療費の低減
	既存 インフルエンザ予防接種	【目的】インフルエンザの予防 【概要】所属所に対して1人当たり1,400円を限度として助成	組合員被扶養者	男女	～74	希望者	継続	継続	継続	接種率の向上	インフルエンザ罹患率の低減・重症化の予防
	既存 電話健康相談	【目的】健康や医療機関への受診等に関する相談 健康指導・予防 【概要】24時間年中無休 フリーダイヤル	組合員被扶養者	男女	～74	希望者	継続	費用対効果や前年度の状況を踏まえた検討	継続	組合員・被扶養者への周知の徹底	適切なアドバイスによる受診 重症化の予防
	既存 電話メンタル相談	【目的】臨床心理士によるメンタルヘルス相談 メンタル性疾患の予防・軽減 【概要】24時間年中無休 フリーダイヤル	組合員被扶養者	男女	～74	希望者	継続	費用対効果や前年度の状況を踏まえた検討	継続	組合員・被扶養者への周知の徹底	適切なアドバイスによる受診 重症化の予防
	既存 メンタル相談(面談)	【目的】面談によるメンタルヘルス相談 メンタル性疾患の予防・軽減 【概要】石川県内に2ヶ所 富山3ヶ所 福井1ヶ所 1人5回まで	組合員被扶養者	男女	～74	希望者	継続	費用対効果や前年度の状況を踏まえた検討	継続	組合員・被扶養者への周知の徹底	適切なアドバイスによる受診 重症化の予防
	新規 健診結果高リスク者保健指導	【目的】受診勧奨・早期治療・重症化予防 【概要】事業主健診で高リスクを示す検査結果が出た組合員について、年齢を問わず保健指導を行う。	組合員	男女	～74	希望者	3所属所程度を対象に、試験的に実施	前年度の状況を勘案し、実施所属所の拡大、実施方法の改善について検討	前年度の状況を勘案し、実施所属所の拡大、実施方法の改善について検討	高リスク保持者で未受診全員に受診勧奨	未受診者の減少 早期治療 重症化の予防
特定保健指導事業	既存 特定健康診査	【目的】生活習慣病・メタボリックシンドロームの予防 【概要】40歳以上75歳未満を対象として、メタボリックシンドロームの予防・解消に重点をおいた、生活習慣病予防のための健診	組合員被扶養者	男女	40～74	全員	所属所と協力し検診の重要性のアピール 被扶養者の受診率の向上対策	継続	継続	全国平均以上の受診率の向上 未受診者対策(被扶養者)	健康維持・増進 重症化の予防
	既存 特定保健指導	【目的】生活習慣病・メタボリックシンドロームの解消 【概要】特定健康診査の結果に基づき、「積極的支援」と「動機づけ支援」に分類し保健指導を行う	組合員被扶養者	男女	40～74	該当者	指導を受けられる体制作りの向上 モチベーションの維持	継続	継続	全国平均以上の実施率・完遂率の向上	健康改善・重症化の予防 メタボ脱却
	既存 特定保健指導前期高齢者	【目的】高齢者の健康維持向上・重症化予防 【概要】疾病が重症化しやすい前期高齢者層を中心に専門スタッフが個別に訪問し健康指導を行う	組合員被扶養者	男女	63～	全員	実施開始から1年しか経過していないため、現状のまま継続	前々年度・前年度の状況を踏まえ、見直し	継続	辞退者率減少を図る	健康改善・重症化の予防 前期高齢者納付金の低減
体育奨励事業	既存 体力づくり奨励(海の家・プール)	【目的】健康増進・元気回復・運動による体力アップ 【概要】入場料・席料全額	組合員家族	男女	～74	全員	契約施設の新規指定継続	海の家・プール以外の体力づくりの取り入れを検討 契約施設を見直し継続実施	継続	新規の助成対象の開拓	運動習慣の定着
	既存 体力づくり奨励(スキーリフト)	【目的】健康増進・元気回復・運動による体力アップ 【概要】1,000円	組合員家族	男女	～74	全員	継続	スキー以外のウインタースポーツの取り入れを検討 継続	継続	新規の助成対象の開拓	運動習慣の定着

区分	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施計画			目標(達成時期:平成29年度)	
			資格	性別	年齢	対象者	平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
保養・助成事業	既存 体育大会	【目的】体育活動の奨励・健康増進・体力アップ・疾病の予防 【概要】組合員数により、主催団体に助成	組合員	男女	～ 74	全員	継続	継続	継続	所属所・主催団体との連携強化	運動習慣の定着
	既存 保養所利用助成	【目的】元気回復・保養・心身のリラックス効果による疾病の予防・リフレッシュ 【概要】おびし荘 3,500円 指定保養所 2,000円	組合員 被扶養者	男女	～ 74	希望者	「おびし荘」の利用促進、PR方法等を検討 継続	継続	継続	—	—
	既存 銀婚者祝福	【目的】保養・元気回復・心身のリラックス効果による疾病の予防・リフレッシュ 【概要】婚姻して25年に達する組合員とその配偶者をおびし荘または能登小牧台に宿泊招待、もしくは旅行券の贈呈	組合員 配偶者	男女	～ 74	該当者	継続	継続	継続	—	—
	既存 長期勤続退職者祝福	【目的】保養・元気回復・心身のリラックス効果による疾病の予防・リフレッシュ 【概要】組合員期間が25年以上で退職した組合員とその同行者1名をおびし荘または能登小牧台に宿泊招待	組合員	男女	～ 74	該当者	継続	継続	継続	—	—
健康普及事業	既存 小学生学習体験	【目的】健康増進・元気回復・親子共同作業によるモチベーションアップ 【概要】組合員とその小学生を対象に、体験型の学習教室を開催	組合員 家族	男女		希望者 該当者	内容をリニューアルして継続	前年度の実施状況を考慮しつつ、内容を再検討しながら継続	前年度の実施状況を考慮しつつ、内容を再検討しながら継続	所属所に周知用ポスターの掲示 庁内LANの活用 参加促進	—
	既存 健康管理講座(健康づくり)	【目的】健康管理・健康意識の向上・普及 【概要】食生活・運動・など生活習慣病対策などの講演、リラックス・肩こり・腰痛予防体操などの運動指導	組合員 家族	男女	～ 74	希望者	内容を全面見直し 開催回数を増やして実施	前年度の実施状況を考慮しつつ、内容・回数・時期を見直しながら継続	継続	所属所に周知用ポスターの掲示 庁内LANの活用 参加促進	健康意識の維持 運動習慣の定着
	既存 健康管理講座(女性セミナー)	【目的】女性の特性に着目した健康管理・健康意識の向上・普及・疾病予防 【概要】専門の講師によるメンタル・食事に関する講演・運動指導・測定	組合員 家族	女	18～74	希望者	内容をリニューアルして開催	前年度の実施状況を考慮しつつ、内容・回数・時期を見直しながら継続	前年度の実施状況を考慮しつつ、内容・回数・時期を見直しながら継続	所属所に周知用ポスターの掲示 庁内LANの活用 参加促進	健康意識の維持 運動習慣の定着
	既存 健康管理講座(ウォーキング)	【目的】健康増進・メタボ・ロコモ予防等の普及・疾病予防 【概要】正しいウォーキングフォームやトレーニング法の習得、食生活の改善等について専門スタッフから指導を受けた後、ウォーキングを実践	組合員 被扶養者	男女	6～74	希望者	開催場所・時期等を見直し 継続	前年度の実施状況を考慮しつつ、内容・回数・時期を見直しながら継続	継続	所属所に周知用ポスターの掲示 庁内LANの活用 参加促進	健康意識の維持 運動習慣の定着
	既存 保健資料の配布(月刊誌「笑顔」)	【目的】健康保持増進・保健健康意識の向上 【概要】組合員13人に1冊の割合で所属所に配布・回覧	組合員 被扶養者	男女		全員	継続	継続	継続	所属所に組合員全員にもれなく回覧の要請	健康意識の向上 運動習慣の定着 制度への理解
	既存 保健資料の配布(月刊誌「ヘルスあつぷ21」)	【目的】健康管理情報・健康保持増進・健康意識の向上 【概要】健康管理担当者に配布・回覧	組合員	男女		該当者	継続	継続	継続	所属所に担当者全員にもれなく回覧の要請	健康意識の向上 運動習慣の定着 制度への理解

区分	事業名	事業の目的及び概要	対象者				実施計画			目標(達成時期:平成29年度)	
			資格	性別	年齢	対象者	平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
健康普及事業	既存 広報誌の発行	【目的】健康保持増進・健康意識の向上と、組合の財政状況やイベント情報等の普及 【概要】広報誌「Well」を組合員1人に1部配布	組合員被扶養者	男女		全員	記事・内容の充実見直し、紙面構成の工夫 家庭への持ち帰り	継続	継続	自宅へ持ち帰るよう奨励	健康意識の向上 制度への理解 組合の状況への理解 イベントの参加率向上
	既存 視聴覚教材貸出	【目的】疾病予防・健康保持増進・保健健康意識の向上 【概要】健康やメンタルヘルスに関連するビデオ・DVDの無料貸出	組合員被扶養者	男女		希望者	事業のPR方法の見直し 教材の充実・更新	継続	継続	所属所へ周知	健康意識の向上
医療費適正化事業	既存 医療費通知	【目的】医療費の周知・医療費の適正化・コスト意識の向上 【概要】医療機関への受診状況を通知	組合員被扶養者	男女	～ 74	全員	医療費への関心をより深めるよう工夫・通知方法の考慮 継続	継続	継続	通知方法の考慮	医療費の適正化
	既存 ジェネリック医薬品差額通知	【目的】医療費の適正化・コスト意識の向上 【概要】後発医薬品に切り替え可能で切り替えた場合の差額を通知	組合員被扶養者	男女	0 ～ 74	全員	実施回数等を見直して継続	継続	継続	年2回通知 後発医薬品への切り替え促進	薬剤費・医療費の軽減
	既存 レセプト審査	【目的】医療費の適正化 【概要】医科・歯科・調剤の診療内容(縦覧を含む)の点検	組合員被扶養者	男女	0 ～ 74	全員	継続	点検内容・委託業者等の見直しを行い継続	継続	審査の適正化	医療費の軽減 財源率の上昇抑制
	既存 レセプト審査 第三者行為・公務災害	【目的】医療費の適正化 【概要】外傷性疾患の原因を組合員に調査・確認	組合員被扶養者	男女	0 ～ 74	全員	継続	継続	継続	審査の適正化	医療費の軽減 財源率の上昇抑制
	既存 被扶養者認定の適正化	【目的】被扶養者資格の適正化・確認 【概要】被扶養者の所得、及び認定要件の確認調査	組合員被扶養者	男女	18 ～ 74	全員	継続	継続	継続	審査の適正化	医療費の軽減 財源率の上昇抑制
既存 家庭医薬品の斡旋	【目的】軽微な病気の治療・症状軽減 【概要】100品目取扱い 広報誌にチラシ折込FAXで申し込み 自宅・勤務先等に直送 商品と同梱の振込書により支払(手数料 販売会社)	組合員被扶養者	男女		全員	取扱商品の見直し 継続	取扱商品の見直し 継続	取扱商品の見直し 継続	—	—	
直営保養所	既存 直営保養所	【目的】元気回復・保養・心身のリラックス効果による疾病の予防・リフレッシュ 【概要】小松市粟津温泉に「おびし荘」を運営 組合員の保養や研修等に利用	組合員被扶養者	男女		全員	セミナー・健康イベントの開催	継続	継続	年間利用者 20,000人	—